

国際シンポジウム

戦後抽象美術における 国際交流

フランスのアンフォルメルと日本の具
体美術協会を主軸に、戦後抽象美
術におけるダイナミックな日仏交流の
実態と歴史的な意味を再検討する。

2010年11月21日 | 日 |
10:00-18:00
日仏会館ホール

入場無料 | 日仏同時通訳付 (デポジット1,000円)

参加方法:

事前申込制 (定員100名)

参加ご希望の方は、住所・氏名およびシンポジウム「戦後抽象美術における国際交流」参加希望と記したメール(又はファックス)を下記までお送り下さい。

お問合せ先:

日仏美術学会事務局

Tel+fax: 03-3280-2415

E-mail: art-francojaponais@digital.email.ne.jp

主催: 日仏美術学会

協力: 財団法人国際文化交換協会

フランソワーズ・ルヴァイアン

フランス国立科学研究所 (CNRS) 研究ディレクター | アンドレ・シャステル研究センター

高階秀爾

東京大学名誉教授 | 大原美術館館長

芳賀徹

東京大学名誉教授 | 静岡県立美術館館長 | 岡崎市美術博物館館長

建畠哲

国立国際美術館館長

平井章一

国立新美術館主任研究員

飛嶋隆信

東京農工大学准教授